

2023年3月31日

2022年度（令和4年度）自己点検・自己評価総括表

学校法人新潟大原学園
大原簿記公務員専門学校新潟校

はじめに

専修学校における自己点検・自己評価は2007年（平成19年）に学校教育法及び同施行規則の改正により義務付けられました。

当学園の自己点検・自己評価は、文部科学省の「専修学校における学校評価ガイドライン」をもとに10項目に大別して実施しています。この度2022年度の各指標に係る方針・目標、取組状況、課題・改善方法について取り纏め報告いたします。

当学園における教育現状のご理解と一層のご支援をお願い申し上げます。

1. 2022年度自己点検・自己評価の総括

(1) 教育理念・目標・人物像

指標（点検・評価項目）	評点
① 学校の理念・目的・人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
② 学校における職業教育の特色は明確になっているか	4
③ 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
④ 学校の理念・目的・育成人物像・特色・将来構想などが学生・関係業界・保護者等に周知されているか	4
⑤ 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界ニーズに向けられているか	4

適切…4 おおむね適切…3 やや不適切…2 不適切…1

【教育理念】

当学園は教育理念として、学校教育法に基づき教育を施し人格の形成を図り、地域社会に貢献できる有為な産業人を育成することを掲げている。また、当学園は教育ノウハウで提携している学校法人大原学園の一員（大原グループネットワーク校）として、校訓・学生憲章を基本理念に掲げ、職業教育の充実に向け取り組んでいる。

校訓	「感奮興起」 感動は感謝を育み、奮闘は成功の一步となる。 興味は才能を開花させ、起動で人は自立する。
学園憲章	本校の学生は、学習態度に厳しさをもち自ら進んで人格の形成に励み、士気旺盛にして初心を忘れず、成功の道を歩まねばならない。

理念や校訓は、当学園 HP、学生手帳等に明記し、学生に周知するとともに入学式を始め様々な機会に紹介している。

【職業教育】

学科・コースの設定にあたっては、産業界の人材ニーズや学生が希望する職業等を把握し対応している。簿記公務員校では、

公務員系	公務員専攻学科（1年制）、法律行政学科（2年制）
ビジネス系	経理ビジネス学科（2年制）
会計士・税理士系	国家試験専攻学科（2年制）、同（3年制）、同（4年制）

の6学科を設置し、さらに学科内において職種別にコースを設けるなどきめ細かく対応している。

少子高齢化の進展や一層のグローバル化など社会の変遷が大きく進む中で、時代に即応した人材育成ができるようさらに校内体制の充実に努めたい。

（2）学校運営

指標（点検・評価項目）	評点
① 目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
② 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
③ 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
④ 人事、給与に関する規程等は整備されているか	4
⑤ 教務、財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
⑥ 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4

⑦ 教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
⑧ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

適切…4 おおむね適切…3 やや不適切…2 不適切…1

【運営方針、運営組織】

運営方針や毎年の事業計画は、理事会や諸会議で策定し、年度当初に全教職員に周知されている。さらに、運営に当たっては情報共有に努め、統一した課題認識を持ち具現化に取り組んでいる。

【業務の効率化】

管理面では、学生管理の新システムにより、入学手続き、学費納入、成績管理、授業出欠等が総合的に管理され効率化を進めている。

一方、教務における業務は広範囲にわたっているが、教育の質的向上を図るためにさらに見直しを進め、効率化、合理化を図る必要がある。

(3) 教育活動

指標（点検・評価項目）	評点
① 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
② 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育達成レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
③ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
④ キャリア教育・実践的な職業教育の視点にたったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
⑤ 関連分野の企業・関連施設等や業界団体等の連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
⑥ 関連分野における実践的職業教育（産学連携によるインターンシップ・実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4
⑦ 授業評価の実施・評価体制はあるか	3
⑧ 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
⑨ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4

⑩ 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中で体系的な位置づけはあるか	4
⑪ 人材育成目標の達成に向け授業を行うことの要件を備えた教員を確保しているか	4
⑫ 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務を含む）を確保するなどマネジメントは行われているか	3
⑬ 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研究や教員の指導力育成などの資質向上のための取り組みが行われているか	4
⑭ 職員の能力開発のため研修等が行われているか	3

適切…4 おおむね適切…3 やや不適切…2 不適切…1

【教育課程の編成】

毎年、コース別会議で重点項目を定め、時代に即応した実践的な教育を展開するとともに、社会に適応できる人材を育成することに重点を置き、編成に取り組んでいる。

なかでも、資格検定取得の成功体験は、学生に自信を与えより高い知識・技能を追求する意欲を導くだけでなく、職業観を高め自分に合った職業選択に繋がることから、重要な柱として位置づけしている。

【カリキュラムの工夫、見直し】

カリキュラム編成では、金融、鉄道・旅行等のコース別対応など実務に即応した編成をし、その効果を上げてきている。今後とも分野別に人材ニーズを適切に把握し、目標人物像を定め、それに適合したカリキュラム等を編成するなど随時見直していきたい。

【授業評価】

授業内容や教授方法の適否の評価において、例えば学生の理解がすすんでいるかなどを把握し、評価することが教育の質向上に欠かせない。これまでは、資格検定試験の合格率推移等で把握してきたが、適正評価に向け評価方法等を工夫する必要がある。

【教員の確保、能力開発】

教職員の能力開発では、先端的な知識・技能習得に向けた外部研修への派遣を行い、授業の質的向上を図った。今後とも、専門性や指導力の資質向上に向けた効果的な研修を実施していきたい。

また、将来を見据えて実業現場で経験を積んだ教員の採用にも積極的に取り組んでいきたい。

(4) 学修成果

指標（点検・評価項目）	評点
-------------	----

① 就職率の向上が図られているか	4
② 資格取得率の向上が図られているか	4
③ 退学率の低減が図られているか	4
④ 卒業生・在学生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
⑤ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用しているか	3

適切…4 おおむね適切…3 やや不適切…2 不適切…1

【就職率】

全科において、卒業までにほぼ全員が就職・進学を進路を決定した。教務担任はきめ細かい指導を行うとともに、希望職種の採用スケジュールに合わせて早期対応を心掛けてきた。地元就職先のほか、大原グループのネットワークを生かして首都圏等への就職希望にも対応してきた。

【資格取得率】

資格取得の高い合格率を維持することは、専門学校の至上命題であり、学校評価にも繋がる。今年度の主要資格取得者は、ほぼ前年度並みの成績であった。各学科では、必要に応じて習熟度別授業や補講などの効果的学修体制で、取得率の向上に努めている。

【退学率】

クラス担任制を敷ききめ細かく対応し、学習意欲の低減を防ぐほか出欠状況管理、個別面談、保護者との連絡を密にしており、退学率は低い。

【卒業生の活躍把握】

卒業生の活躍状況を定期的に把握するモニタリングまで至っていないが、多くの就職先から評価が寄せられており今後の教育活動に繋げていきたい。

(5) 学生支援

指標（点検・評価項目）	評点
① 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4

② 学生相談に関する体制は整備されているか	4
③ 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
④ 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
⑤ 課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
⑥ 学生の生活環境への支援は行われているか	3
⑦ 保護者と適切に連携しているか	4
⑧ 卒業生への支援体制はあるか	3
⑨ 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
⑩ 高校・高等専門学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	4

適切… 4 おおむね適切… 3 やや不適切… 2 不適切… 1

【進路・就職】

クラス担任が学習・就職・生活等全般の相談窓口を担っており、きめ細かい対応から学生の満足度は高い。

就職指導は、1年次から就職先決定まで就職サポートスケジュールに沿って進め、自己分析・履歴書作成・SPI対策・模擬試験・面接指導の他、上級生の就職活動報告会、職種別セミナー等を行っている。

また、専担の就職指導者は、主要先採用動向の把握、校内企業説明会の開催、求人先の新規開拓、外部就職情報の提供などを行い、学生の幅広いニーズに対応している。

【経済的支援】

学生が経済的な事情で修学を断念することがないように、2021年4月より国の施策「給付奨学金制度」により、きめ細かい支援を行っている。また当学園独自の「試験による特別奨学金制度」や「資格・クラブ活動実績による特別奨学生制度」を設けて、支援している。

さらには、諸物価急騰により経済的に厳しい状況にある学生に対し、日本学生支援機構の助成を受け、2023年1月に緊急生活支援を行った。

【保護者との連携】

学生が充実した学生生活を送るためには、保護者の学校教育への理解と協力が不可欠であり、学校による適切な情報提供・連絡が必要である。このため、定期的に保護者あて資格取得状況や出欠状況を報告するとともに、保護者会を年 2 回開催し教育内容の説明や保護者面談を行うなど連携を深めている。

【卒業生の支援体制】

卒業生を支援する体制づくりまで至っていないが、困りごと等の相談を通し支援に努めている。

【高等学校との連携】

高校生のキャリア教育・職業教育の一助になることを目的に、高等学校へ支援活動を実施している。主に公務員試験の対策など当学園教員による出張セミナー・講習会を高等学校と連携し実施した。引き続き多くの要請を受けており、可能な限り対応していきたい。

また、高等学校の進路指導担当に当学園の教育内容や卒業生の就職活動状況等を速やかに報告するなど連携を深めている。

(6) 教育環境

指標（点検・評価項目）	評点
① 施設・設備は、教育上必要性に十分対応できるように整備されているか	4
② 学内外の実習施設、インターンシップ等について、十分な教育体制を整備しているか	3
③ 防災に対する体制は、整備されているか	4

適切…4 おおむね適切…3 やや不適切…2 不適切…1

【施設・設備】

現在校舎では、専門学校 2 校の専門課程学生及び社会人講座の受講生が学んでいる。充実した学修環境は学校の必須条件であり、耐震性等の法適合は勿論であるが、毎年定期点検と改修に努めている。

実践的職業教育には、最新ソフトウェアを搭載したパソコン機器の配置は欠かせないものとなっている。このため、随時見直し入れ替えが必要であり、パソコン教室の整備等を行っている。

【実習・インターンシップ】

実践的職業教育における実習やインターンシップは貴重な学修機会であり、これまで

積極的に取り組んできている。

前年度まで2年間は、新型コロナウイルス感染症拡大により企業や役所では開催されなかったが、今年度ようやく再開され、新潟市役所・燕市役所等のインターンシップに参加し貴重な学修機会を得た。

【防火・防災体制】

所轄消防署の指導のもと、全職員、全学生で年1回防災訓練を実施している。今年度は、2年ぶりに全員による避難訓練、消防設備取扱訓練などを行い、基本操作と行動を確認した。

(7) 学生募集

指標（点検・評価項目）	評点
① 学生募集活動は、適正に行われているか	4
② 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
③ 学納金は妥当なものとなっているか	4

適切…4 おおむね適切…3 やや不適切…2 不適切…1

【募集活動】

学生募集に向けてPRとしては「学校案内」のパンフレット発刊、ホームページ掲載、学校説明会・オープンキャンパスの開催や体験入学会等を行い、情報提供をしている。

また、営業・広報活動に3名を専担として配置し、進路選択の一助として、県内高等学校をくまなく訪問して最新の的確な情報提供や出張セミナーの開催など活動している。

税務、会計等の社会人講座を開講しているが、受講者が前年をやや下回る状況にあり今後、広報活動に注力したい。

【学納金】

学生納付金の内容は、理事会の厳正な審議を経て決定されており、金額水準は他の商業実務専門課程の専門学校と比較して妥当なものとなっている。なお内訳は、募集要項に記載している。

(8) 財務

指標（点検・評価項目）	評点
-------------	----

① 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
② 予算・収支決算は有効かつ妥当なものとなっているか	4
③ 財務にて会計監査は適切になされているか	4
④ 財務情報公開の体制はできているか	4

適切… 4 おおむね適切… 3 やや不適切… 2 不適切… 1

【財務基盤、予算・収支決算】

現在の財務内容は、学校としての施設・設備の必須条件を満たしかつ事業は自己資金による運営で健全な状態にある。会計は、学校会計に沿い適正に処理され、収支予算・決算とも理事会の審議を経て決定され、承認を受けている。

また、資金運用に当たっては、規定に沿い元本の確実性を最も重視して取り組んでいる。

【会計監査、情報公開】

学校会計に精通した公認会計士事務所より、細部にわたる監査を受けて適切な指導を得て健全経営に努めている。

私立学校法によって義務付けられている事業報告・財務情報等の公開は、事務所に公開資料として備付し、閲覧できるよう体制を整えている。また、2020年5月より学園HPに掲出している。

(9) 法令等の遵守

指標（点検・評価項目）	評点
① 法令、専門学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
② 個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか	4
③ 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
④ 自己評価結果を公表しているか	4

適切… 4 おおむね適切… 3 やや不適切… 2 不適切… 1

【法令等の遵守】

専修学校設置基準等の関係法令を遵守すると共に、申請・届出・報告などは遅滞なく実

施している。教職員に対しても、関連法令の理解を深めるため研修等を継続している。
また、学生もすでに社会人の一人として行動することが求められており、法令の理解・遵守を授業にも取り入れている。

【個人情報保護】

当学園は、個人情報保護・管理に最新の注意を払い、学内規程の制定や法令の遵守に向けた取り組みを行っている。特に外部に業務委託をする場合に、個人情報保護を徹底する契約を締結するなど情報管理に努めている。

【自己評価】

2019年度より、校内に自己評価委員会を設置し、自己点検・自己評価を実施し公表することとした。学校評価の目的は、学校運営・教育活動を見直し、改善方策を検討・実施することにある。学校経営者、教職員はもとより関係者の支援を得て、教育理念・目標に沿った事業を推進したい。

(10) 社会貢献・地域貢献

指標（点検・評価項目）	評点
① 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
② 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）受託等を積極的に実施しているか	3
③ 学生のボランティア活動を奨励、支援をしているか	4

適切…4 おおむね適切…3 やや不適切…2 不適切…1

【社会貢献・地域貢献】

専門分野における職業教育の振興は、専門学校の社会的使命でもあり簿記検定等の資格取得への対応をはじめ社会・企業からの要請に対応している。現在、公共職業訓練等の受託はないが、引き続き社会ニーズの把握に努めたい。

校舎等施設の教育活動以外の利用は、公益を目的にしたものに限って許可している。

【ボランティア活動】

学生へのボランティア要請に対し、可能な限り告知・PRに努めている。昨年10月には「新潟シティマラソン2022」開催に際し、大会運営に協力した。

また、学園内で実施される「赤十字献血運動」にも多くの学生が協力した。

以上